

はじめにー最近センチメンタルー

5月もあっという間に終わったと思いきや、報告書に何を書こうか写真フォルダをスクロールしていると、これも5月の出来事だったかと盛りだくさんだった一か月に驚いています。

前期の終わりを目前に控え、帰国する留学生たちがいつ帰るのかと話しているのを聞いていると、お別れが近いのかと寂しい気持ちになります。4か月経ち最近ようやく仲良くなれたと思いきやもうお別れです。お別れの直前が一番仲良くなるのはあるあるですね。お別れを悲しむ気持ちと夏休みがもうすぐくるワクワクする気持ちが混ざりあった複雑な気持ちです。



台湾の一般的なステーキ
卵焼きをぐちゃぐちゃにし
て食べる

台湾生活

○虫との闘い

最近暖かくなり、人間だけでなく虫たちも夏の始まりを楽しんでします。日本よりも虫の数が多く、大きさも大きいため虫が苦手な人は過ごしにくいかもしれません。特にゴキブリの大きさは異常で街中にたくさんいます。私のお気に入り、手のひらサイズのアフリカマイマイです。宿舎の窓は網戸が内側にあり、夜に窓を開けると虫が入ってきてしまうため、夜は窓を開けられません。これから冬になるまで虫さんたちと共存生活が始まりそうです。



○授業

授業も期末テストに向けてラストスパートです。
MTC（語学学校）の授業は5月中に終わりました。一番好きな授業だったので、一番早く終わってしま残念です。
一番辛かった英語の授業も期末のグループプレゼンが終わりました。英語と中国語で英語を学ぶ授業は周りの学生のレベルが高く授業についていけないことがしばしばありました。もう来週行くのはやめようと毎週授業終わりに思っていました。しかし傷だらけのままですが、最後までやり切ることができました。

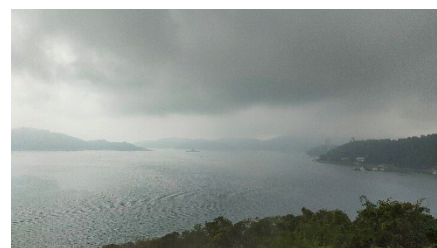


英語のプレゼンの様子

○休日

今月は日月潭に旅行に行ったことが一番の思い出です。フランス人1人と台湾人2人の日本人なしの旅行でした。初めて日本人なしの環境に3日間置かれて、緊張の連続でしたが中国語の勉強になりました。

また、サイクリングや故宮博物院に行き、毎週どこかに行っていて充実した休日を過ごせたと思います。そのせいで疲れがたまり、体調が少し悪かったですが、気にしないでおきましょう。



梅雨が始まりあいにくの
天気の日月潭

卒論 NOTE

私は、担当の先生の許可をいただき、台湾からオンラインでゼミに参加しています。毎週参加しており、卒論に向けて発表や意見交換などを行っています。ようやく私の卒論テーマも決まり、最近重い腰を上げて文献を読み始めました。私は台湾先住民族女性議員について調べています。やりたいことを盛り込みすぎて、調べるのが膨大なので正直どこまでできるか不安です。

最近報告書のネタに困っているのが、卒論の研究で調べたことをまとめたいと思います。台湾の社会についても知ることができると思うので、読んでいただけるとありがたいです。今回は、基本中の基本を調べました。

<先住民について>

16の民族が政府によって公式に認められている

・平地居民

シラヤ族、ホアンニア族、バブザ族、パゼツヘ族、タオカス族、ケタガラン族、カバラン族、マカタオ族

・山地居民

タイヤル族、サイシャット族、ブヌン族、ツオウ族、ルカイ族、パイワン族、ピューマ族、アミ族、ヤミ族

清朝時代－厄介者－

「蕃族」

保護したり教育することは一切ない

日本統治時代－理蕃事業－

台湾の近代化のために討伐開始

帰順した高砂族に授産・教育・医療を施す

→首狩りがなくなる、生活改善、農業などの職業に就く

台湾大学に原住民資料館があり、行ってみたら日本語の文献もたくさんあったので、これから通いたいと思います

中華民国統治時代

同化政策

↓

1990年代以降、民主化の流れで「原住民権利運動」を推進

その結果、政府の公式文書にも「原住民族」「台湾原住民族」という呼称を認証させた

山地行政政策

先住民に対する保護補助や社会福祉を推進

先住民族の生活水準は平地に暮らす台湾人と同程度とはいき切れないが、飛躍的によくなっている。また、これらの歴史などから現在の先住民族の人々の生活の中に、昔の姿はほとんどできなくなっている。

参考文献：古川勝三，2013，『日本人に知ってほしい「台湾の歴史」』，創風社出版

<政治体制>

○半大統領制

大統領（国民からの直接選挙）＋首相（国会から選ばれる）

○立法院

一院制 任期4年 定数113

○選挙制度

1、議会選挙

小選挙区比例代表並立制；小選挙区＋比例代表制＋先住民枠

2005年から中選挙区制と比例区制から小選挙区比例代表制に
主な目的は金権政治と汚職をなくすため

2、総統選

相対多数制：相対的に多数の票を獲得した候補者が当選する

総統と副総統がペアで立候補しなければならない

再選1回 任期4年（2期8年まで可能）

日本では話題になりつつも
採用されないクォータ制度
台湾では古くから取り入れ
られていることも女性の権
利の高さをうかがえます

○クォーター制

ジェンダーに基づいて一定の割合で議席または候補者を保障する制度

女性が議員になるには障壁が存在し、それを全て取り除くには時間がかかる

→先に枠を設けて女性議員を増やし、その後に障壁を除去する方が早く結果が出るだろう
という考えから導入されている

台湾では…

国政選挙；女性議席確保方式

憲法で比例代表選挙で獲得した議席のうち、女性の占める割合を50%以下
にしてはいけないとされている

地方選挙：地方選挙法で当選者4人のうち1人は女性とすることを定められている

2大政党（国民党・民進党）：党則で候補者選定におけるジェンダー・クォータを採用

・歴史の変遷

1946年 全選挙区に女性の議席を保障する

1996年 民進党の党則でジェンダー中立なクォータ制度を採用 男女ともに25%以上

1998年 地方選挙法でクォータ制度が法律に定められる 25%が女性の議席割り当て

2000年 国民党の党則でジェンダー・クォータを採用

2005年 憲法にクォータ制度が明示的に規定される

参考文献：

松本充豊,2020,「台湾にみる選挙制度とその帰結. 交流」『台湾情報誌』 948： 1-13.

申琪榮, 2023年,「コラム～台湾における女性の政治参画とクォータ制度～」, 内閣府男女共同
参画局ホームページ

(2023 年 6 月 8 日 取 得 ,
https://nsearch.cao.go.jp/cao/search.x?q=%E9%BB%84%E9%95%B7%E7%8E%B2&x=0&y=0&mode_ja_gender=ja_gender&page=1&ie=UTF-8&tmpl=ja)

黄長玲, 2019 年, 『台湾におけるジェンダークォータ: その経験と影響分析』 IGS Project Series 20
2020 年度 IGS セミナー報告書「東アジアにおけるジェンダーと政治」 Booklet Series 1, お茶の水女子
大ジェンダー研究所